

今は亡き作家さんによる手
作りの馬も馬蹄型のフック
はさすがの存在感。トイレの
扉に付けています。



「自分で考えたので使いや
すいです」。モノトーンのキッ
チンは奥さまがデザインをし、
ご主人をはじめとする職人
さんが製作。天板は黒の御
影石です。



ガラス窓一面に雑木林の緑が広
がるリビング。冬でも明るく、温かく
快適です。ソファはNOYESでセミ
オーダー。暖炉上の鏡は奥さまの
実家の油絵の額だったものに鏡を
はめ込んだもの。ペンダントランプ
はボウズリーで購入。

雑木林に囲まれた
緑溢れる環境で
自然と寄り添う
豊かな時間

小形邸

Scene
No.18

暖炉はデンマークのHWA
M社のもの。リビングの小
上がりは暖炉を囲む定位
型で、そのためにアール状
にカットしたそう。



1階の来客用トイレは、便
座と蓋の色にあわせ、ロー
ズウッド色とモノトーンでクラ
シックかつシックにまとめて
います。





壁をベージュに塗った主寝室。ベッドリネンは白で爽やかに。今は長男、次女と一緒にここで寝ています。隣には子供たちのお絵かき部屋があり、作品が壁にぎっしり(1)。長女が持って帰ってきた金魚のペダ(2)。庭に落ちるとんぐりを拾い、オーク材のリビングの床の上ではじき遊び(3)。もとこの一帯は畑木で、ひときわ大きくそびえていたコナラの木を残し、ブリーハウスに、ベッドが置いてあり、気候の良い季節にはここに寝ることも。ブリーハウスからは庭や自宅を見下ろせます(4・7)。ポーチから入ってすぐのダイニングキッチンまでは土足履き。ダイニングテーブルは古材を用いたKONARA HOUSEのオリジナル(5・8)。ポーチにあるthe Hammockのチェアハンモックで大人も子供もリラックス、お昼寝も気持ち良さそう(6)。



屋根はレッドシダーシェイク、外壁はレッドシダーのサイディングと共に木材を用いた家。年月を経るごとに美しい銀色に変わっていく、外観を含めて経年変化を楽しめる家です。

「キツツキにタヌキ、野ウサギもいるし、先日はフクロウを見ました」。リビングやバスルームの、大きく切り取られた窓から見えるのは雄木林の木々と青い空のみ、もちろんカーテンも必要なし。東京からほんの少し離れただけなのに、まるで別荘地に来たかのような清々しい空気に、思わず深呼吸したくなります。「秋から冬にかけては、落ち葉を掃いたり暖炉の焚きつけ用に小枝を集めたり。今はピオトープを作っていますし、休みの日もやるのがいっぱい」とご主人。子供たちも木に吊るしたブランコで遊んだり、どんぐりを拾ったり、ゲーム機とは無縁の生活を送っています。小形邸は大工さんであるご主人が中心となって建てた、無垢材の梁や柱の美しいティンバーフレームの家。モダンデコをテーマに掲げたインテリアは奥さまの担当で、広々とした庭には花やハーブが植えられ、ひときわ大きなコナラの木には、大人も憧れるツリーハウスがあります。「ここに越してから、外出や旅行も減りました。まわりにレストランもないから外食もしなくなったし」と奥さま。暖かい季節は、お昼頃からポーチでバーベキューを始め、そのまま子供たちは庭で遊び、大人はお酒を飲みながらゆっくりと夜まで過ごすというのがお休みの日の定番。半屋外のポーチが少し

肌寒く感じられるようになると、リビングの暖炉に火を点ける季節の到来です。手際良く薪に火を点け、揺れる炎を見ながらご主人が「この火をダンシングファイヤーって言うらしいです」とボツリ。さらに床暖房を付けば、冬でも半袖でも過ごせるほど家じゅうが温かだとか。夜は夫婦でお酒を飲みながら暖炉の踊る火をボーッと眺めるのが冬の間の楽しみです。キッチンでは奥さまが日曜日のランチを準備中。「主人が好きなので、イタリアンを作ることが多いかな？ 私もお酒を飲むのが好きなので、飲みながらおつまみをちょこちょこ、料理は苦になりません」。横からご主人が「キッチンランカーだよ(笑)」と。庭で遊びまわっていた子供たちも「お腹すいた〜」とキッチンにやってきて、賑やかな休日のランチタイムの始まりです。

小形邸 data

仕事場と自宅を併設できる広い土地を探し、家を建てる。／神奈川県茅ヶ崎市在住。外壁も断熱も木にこだわったKONARA HOUSE [http://www.konarahouse.jp/] を次男で主宰。カナダで建築の勉強をし、大工として家づくりをするご主人・寛さん(39歳)と、インテリアと庭を手掛ける奥さま・美奈子さん(39歳)、次女ちゃん(18歳)、長くん(7歳)、長ちゃん(5歳)の5人家族。



1. 2 階には子供部屋とゲストルーム。長女の部屋はラベンダーがテーマカラーでロフト付き。2・3. 次女の部屋はテーマカラーはピンク。ローラ アッシュレイの花柄のファブリックを効かせて、蝶々や星形のガーランドを飾り可愛らしく演出。ベッドはご主人が製作し、グレーの椅子は由美さんがペイントしたとか。4・5. 長男の次男の部屋は壁をモスグリーンでペイント。動物や鳥のシールを壁に貼って子供部屋らしく。



浴室とパウダールームを繋ぐ通路にはベンチシートを置き、向かい側には家族の洋服を入れたクローゼットを。使い勝手の良い生活動線。

2 階トイレの壁と床は、ほかのスペースとはカラーと印象を変え、色鮮やかなターコイズブルーの爽やかな空間に。

Ogata's favorite collection



家はご主人、インテリアは奥さま。2人のセンスが見事に融合

小形邸のインテリアのテーマは「モダンデコ」。居心地の良いナチュラルかつモダンな中にデコラティブな要素を取り入れた、まるで洋書の世界のようなインテリア。ご主人の理想とするティンバーフレームの家に奥さまのセンスが見事に発揮されています。

1. 2階のトイレはタイルとペイントで一面ターコイズブルーに、洗面ボウルはTOTOのもので「公共施設などで使われるものですが、子供が洗いやいかなと思って」採用。水栓金具は仏・オリュス社。2. 米・D.R.ダイムス社のウィンザーチェアは、18世紀頃に使われていた椅子を復刻させたもの。小形さんご夫婦が惚れ込んで自宅で愛用し、現在はKONARA HOUSEでも販売しています。3. 1階のトイレのランプは、ラ・シエネガでセミオーダー。好きなパーツを選んで組合わせ、製作してくれるそう。4. 主寝室でひとときを引く

美しいデザインの鏡は、ローラ アッシュレイで購入したもの。5. 2階のトイレの洗面カウンターは白いタイル貼り。1つだけハチのタイルがはめ込まれているところにセンスを感じます。タイルは平田タイルのもの。6. 1階の洗面所の鏡は、額縁専門店で購入した額に鏡をはめ、さらにそれを収納の扉として設置。美しいだけでなく収納としての機能性も備えた鏡です。7. 次女の部屋の壁飾りが可愛らしいピンクのペンダントランプはローラ アッシュレイで。8. バントリー横の勝手口近くの壁にはエコバッグや帽子などを掛けるフックが。腰のフックはダルトンで購入。9. 主寝室のベッド上には白のクッションを並べています。クッション類は季節ごとに変えるので、値段も手頃なフランフランで購入することが多いとか。



家の南側にはスクリーンポーチと呼ばれる、半屋外空間を設け、屋根と網戸付きで、雨の日も夏でも快適。暖かい季節はここで夕食を食べ、休日にはバーベキューも。